

北九州市立大学 学長記者会見

1 日時

平成18年11月8日（水）14時00分～15時00分

2 場所

市役所記者会見室（本庁4階）

3 件名

『北九大の学部学科等の再編及び

北九大ビジネススクール・プレイベントの開催等について』

北九州市立大学の改革について

- ① 学部学科等の再編について
- ② 北九州市立大学ビジネススクール・プレイベントの開催
- ③ （株）日本格付研究所による格付審査結果の公表
- ④ 仁川発展研究院との研究交流協定の締結
- ⑤ 必履修科目未履修者の取扱い

質疑

学部学科等再編について

平成 19 年 4 月 北方キャンパス文系 4 学部の学部学科等を再編！

- ◆現代を生きぬく「人間力」を育成・強化する「基盤教育センター」の設置・充実
- ◆グローバル化の本格化などを背景に、
2つの専攻を「英米学科」、「中国学科」に昇格、「国際関係学科」を含め
外国語学部3学科の入学定員を各10人増加

1 再編に際しての3つの基本の方針

(1) 基盤教育センターを本格スタートし強化する

人間性豊かな人材育成という教育上の大きな問題に対応するため、約20人の専属の教員スタッフを擁する「基盤教育センター」を本格スタートし、全学を挙げて「人間力」育成・強化に取り組む。

(2) 外国語学部を強化する

グローバル化の本格化と中国を中心とする東アジアの重要性が増大するなかで、本学の外国語教育の歴史と伝統を引き継ぎ、英語専攻、中国語専攻をそれぞれ英米学科、中国学科に昇格するなど「外国語学部の強化」を行う。

(3) 経済学部の収容定員を見直す

専門職大学院ビジネススクールへの教員7名の移籍に伴い、教育の質の維持向上を図りつつ、学生定員を見直す。

2 再編に伴う教員体制の見直し

◆基盤教育センターへ学部学科からの異動	18名
◆学部学科間の異動	12名
◆ビジネススクールへの異動	7名
計	37名

3 再編後の学生入学定員の変更

(1) 外国語学部の定員を30人増 (235人 → 265人)

外国語学部

外国語学科	英語専攻 (115人)	→	英米学科 (125人・10人増)
	中国語専攻 (115人)	→	中国学科 (125人・10人増)
国際関係学科	(75人)	→	(85人・10人増)

(2) 経済学部の定員を30人減 (340人 → 310人)

経済学部

経済学科	(170人)	→	(155人・15人減)
経営情報学科	(170人)	→	(155人・15人減)

4 再編の内容

(1) 基盤教育センター

1, 2年を中心とした従来の基礎教育とは異なり、高校から大学、さらに専門教育への接続、そして卒業後の社会への橋渡しまで、入試から就職までの一貫した教育体系を確立する。

基盤教育は、「教養教育」、「語学教育」、「情報教育」という三つの科目群から構成され、この基盤教育を通して、深い教養と豊かな人間性をはぐくみ、現代を生きぬく「人間力」を養い、卒業後の将来にも結びつく能力の育成を目指す。

学部卒業に必要な単位のおよそ 1/3 を基盤教育センターが担当する。

(2) 外国語学部

英米学科	<p>実践的英語能力と豊かな国際的センスを持つ人材を養成 (再編の特色)</p> <p>①従来のカリキュラムと教授方法を見直し、英語教育担当教員を増加 ②1～4年次までの授業にネイティブスピーカーを配置、実践的英語能力を研鑽 ③英語圏の文化、政治、ビジネスについても学習 ④専門科目は、少人数クラス編成 ⑤3・4年次は通訳、翻訳、メディア英語など実践的なゼミを配置</p>
中国学科	<p>本学の中国語教育の歴史を踏まえ、中国語、現代中国に精通した人材を養成 (再編の特色)</p> <p>①中国語をベースにした中国の歴史・経済分野を充実 ②中国語と中国文化、社会等を学び、ダイナミックに変動する中国を学習 ③実践的な中国語を習得し、アジアの時代をリードする人材を育成</p>
国際関係学科	<p>英語のほか、アジア諸国、ヨーロッパの言語を学び、様々な国際分野にも目を向ける社会科学分野の知識を養成 (再編の特色)</p> <p>①韓国経済と東南アジア地域研究分野を拡充</p>

(3) 経済学部

経済学科	<p>環境問題など新たな経済システムなどを踏まえ、地球市民的視野と豊かな教養を身につけ、同時に経済学の高度な専門知識を備えた、理論と実践を統合できる人材を育成</p>
経営情報学科	<p>総合的な環境分析、マネジメント理論とともにコンピュータ解析、経営工学の技法を習得し、理論と実践を統合した教育を通じて、ジェネラリストとしての総合力とスペシャリストとしての高度専門知識を備えた人材を育成</p>

(4) 文学部

比較文化学科	日本文化と異文化を正しく理解し、地球的視野に立てる人材を育成 (再編の特色) ①英米及びフランス・ドイツに加え、 <u>スペイン、ロシアなど欧州文化・歴史分野等</u> を充実・強化
人間関係学科	理論と実践を通じて、人間と社会を総合的に探求することができる人材を育成 (再編の特色) ①実験、実習、調査、フィールドワークなどの実践的教育を充実・強化。 人間に関わる様々な領域で活躍できる人材を育成する

(5) 法学部

法律学科	高度の発達した現代社会の様々な現象と課題に適切に対応するために必要とされる「法的思考力(リーガルマインド)」を身につけた人材を養成 特色ある履修コースを設定して、これまで以上に、現代社会の課題に柔軟に対応できる主体的・実践的な人材を育成
政策科学科	福祉・環境・情報、政治体制や国家の枠組みの動揺、頻発する民族紛争、経済のグローバル化など、新たな問題を解決できる能力「政策的思考能力(ポリシーマインド)」を有し、政策アプローチを身につけた人材を育成

問い合わせ先: 北九州市立大学 経営企画課
江島・星之内
TEL 964-4195

再編に伴う入学定員・教員定数の変更(北方キャンパス)

<H18. 4>

学部・学科			学生定員		教員定数
			入学定員	収容定員	
外国語学部	外国語学科	英語専攻	昼	90	13
			夜	25	
			計	115	
	中国語専攻	昼	35	10	
		夜	10		
		計	45		
	国際関係学科	昼	65	13	
		夜	10		
		計	75		
計			235	940	36
経済学部	経済学科	昼	155	18	
		夜	15		
		計	170		
	経営情報学科	昼	155	17	
		夜	15		
		計	170		
計			340	1,360	35
文学部	比較文化学科	昼	135	23	
		夜	15		
		計	150		
	人間関係学科	昼	75	15	
		夜	10		
		計	85		
計			235	940	38
法学部	法律学科	昼	160	20	
		夜	35		
		計	195		
	政策科学科	昼	68	11	
		夜	17		
		計	85		
計			280	1,120	31
文系4学部合計			1,090	4,360	140
基盤教育センター			—	—	9
異文化言語教育担当教員(外数)			—	—	3
合計			1,090	4,360	152
都市政策研究所					10
国際教育交流センター					2
キャリアセンター					1
大学院社会システム研究科					4
大学院マネジメント研究科					0
北方キャンパス 教員数合計					169

<H19. 4>

学部・学科			学生定員		教員定数
			入学定員	収容定員	
外国語学部	英米学科	昼	100	14	
		夜	25		
		計	125		
	中国学科	昼	45	10	
		夜	10		
		計	55		
	国際関係学科	昼	75	12	
		夜	10		
		計	85		
計			265	1,060	36
経済学部	経済学科	昼	140	14	
		夜	15		
		計	155		
	経営情報学科	昼	140	14	
		夜	15		
		計	155		
計			310	1,240	28
文学部	比較文化学科	昼	135	17	
		夜	15		
		計	150		
	人間関係学科	昼	75	13	
		夜	10		
		計	85		
計			235	940	30
法学部	法律学科	昼	160	20	
		夜	35		
		計	195		
	政策科学科	昼	68	11	
		夜	17		
		計	85		
計			280	1,120	31
文系4学部合計			1,090	4,360	125
基盤教育センター			—	—	18
異文化言語教育担当教員(外数)			—	—	5
合計			1,090	4,360	148
都市政策研究所					9
国際教育交流センター					2
キャリアセンター					1
大学院社会システム研究科					4
大学院マネジメント研究科					8
北方キャンパス 教員数合計					172

北九州市立大学ビジネススクール — プレイベントの開催について —

〔趣 旨〕

北九州市立大学ビジネススクールは、来年4月に開校することになっているが、民間企業の経営者や社員等を対象とするビジネス分野のほか自治体やNPO職員などを対象とする公的分野での革新的な事業創造や組織革新を実現するため、中国ビジネス、環境に関する科目の充実を特色として、高度なマネジメント能力を備えた専門職業人の養成を目的とする。月～金の平日はAIMビル(7F)のサテライトキャンパスで夜間に受講でき、働きながらMBAが取得できる学習環境を整備する。

〔プレイベントの開催〕

プレイベントは2回開催するが、第1弾を12月15日(金)に開催する。香川大学ビジネススクールの井原研究科長をコーディネータに「創造と変革のMBA～地域でつくる北九大ビジネススクール～」をテーマにパネルディスカッションを行うほか、ビジネススクール教員による模擬授業を行う。

第2弾は、1月17日(水)～19日(金)の3日間「3デイズ・オープンスクール」と題し、AIM7階のサテライトキャンパスを会場に、マネジメント、パブリック、ファイナンスなどのテーマ別に模擬授業等を行う。

1, 2回とも会場内に入学等に関する個別相談ブースを設けることとしている。

1 日時、場所、定員

■ 第1回 「北九大ビジネススクール説明会」			
12月15日(金)	18:30 ～ 20:45	西日本総合展示場新館中展示 場会議室(AIMビル3階)	定員 80 名
■ 第2回 「3デイズ・オープンスクール」			
1月17(水)・18(木)・19日(金)	18:30 ～ 20:30	AIMビル7階サテライトキャンパス	定員各 36 名

2 プログラム (別紙のとおり)

3 申込方法

Eメールまたはハガキに、「BSイベント申込み」と記入し、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記載のうえ申し込み。申込の締め切りは、12月8日(金)まで(消印有効)。

※1) 定員を超えた場合は抽選による。

※2) 第2回「3デイズ・オープンスクール」は、12月15日(金)の第1回「説明会」終了後に改めて募集を行う。

送り先: Eメール k2bs@kitakyu-u.ac.jp

ハガキ 〒802-8577 小倉南区北方4丁目2-1

北九州市立大学 経営企画課 BS係

4 参加費 無料

5 入試日程等(予定)

(1) 募集人員

出願区分	募集人員	備考
① 社会人 ② 進学者	30名 (うち②は若干名)	※第1回選抜と第2回選抜の合計数。 ※第1回選抜と第2回選抜における併願は不可。

(2) 出願資格

大学卒業またはそれと同等の学力※を有し、平成19年3月までに営利的、非営利的法人、官庁などにおける2年以上の実務経験を有する者

※出願に先立って個別の入学資格審査が必要です。

(3) 日 程

	第1回選抜	第2回選抜
出願期間	平成19年1月19日(金) ～ 1月26日(金)	平成19年2月9日(金) ～ 2月16日(金)
受験票発送	平成19年1月31日(水)	平成19年2月22日(木)
一次選考 結果通知	平成19年2月 8日(木)	平成19年 3月1日(木)
二次選考 試験日	平成19年2月17日(土)	平成19年3月11日(日)
合格発表日	平成19年3月9日(金)	平成19年3月21日(水)
入学手続	平成19年3月22日(木) ～ 27日(火)	

問い合わせ先: 北九州市立大学 経営企画課
江島・星之内
TEL 964-4195

北九州市立大学ビジネススクール イベント・プログラム

第1回 北九大ビジネススクール説明会 (12月15日(金) AIMビル3階中展示場会議室)

第2回 3デイズ・オープンスクール (1月17(水)・18(木)・19日(金)、AIM7階サテライトキャンパス)

第1回

北九大ビジネススクール説明会

1. 日時

平成18年12月15日(金) 18:30~20:45

2. 場所

西日本総合展示場新館中展示場会議室 (AIMビル3階) F・G 収容: 80名

3. プログラム

1	18:30~ 【5分】	挨拶	北九州市立大学 理事長 阿南惟正
2	18:35~ 【15分】	ビジネススクール 開校にあたって (BSの概要及び BS教員紹介)	北九州市立大学 ビジネススクール設置準備室 室長(経済学部教授) 齋藤 貞之
3	18:50~ 【60分】	パネルディスカッ ション 「創造と変革のMBA ~地域でつくる北九 大ビジネススクール」	【コーディネーター】: 香川大学地域マネジメント研究科長 井原 理代 【パネリスト】: 北九州市立大学 経済学部助教授 城戸 宏史 NPO法人 ヴィーナスワン代表 小嶋寿見子 ビジネススクール設置準備室長 齋藤 貞之 株式会社ゼンリンデータコム 代表取締役社長 林 秀美 株式会社テクノスマイル 取締役社長 馬見塚 讓 (氏名の五十音順)
4	19:50~ 【15分】	入試要項の説明	
5	20:05~ 【40分】	模擬授業	①技術マーケティング戦略 財団法人北九州産業学術推進機構 半導体技術センター長 丸田 秀一郎 【20分】 (株式会社東芝 通信システムLSI技術部長、アナログシステム LSI-SBU長等を歴任) ②ファイナンス 北九州市立大学 経済学部助教授 武田 寛 【20分】 (日本長期信用銀行 証券投資部、総合資金部などを歴任)
	20:45		
	20:00~ 【45分】	個別相談会	並行して入試相談用ブースを設置
6	20:45	終了	

(敬称略)

第2回

3デイズ・オープンスクール

1. 日時

平成19年1月17日(水)・18日(木)・19日(金) 18:30～20:30

2. 場所

「AIMビル7階」(サテライトキャンパス) 収容:36人

3. プログラム

	時間	プログラム	17日(水)	18日(木)	19日(金)
1	18:30～ 【15分】	挨拶・ BS概要説明	齋藤貞之	齋藤貞之	齋藤貞之
2	18:45～ 【15分】	入試要項の説明			
3	19:00～ 【45分】	模擬授業及び プレゼンテーション	〔テーマ〕 『パブリック』 〔スタッフ〕 城戸宏史 永津美裕 (※) 吉村 弘	〔テーマ〕 『ファイナンス』 〔スタッフ〕 鈴木 茂 武田 寛 (※) 任 章	〔テーマ〕 『環境』 〔スタッフ〕 関 宣昭 鄭 劍豪 松永裕己 (※)
	19:45～ 【45分】	模擬授業及び プレゼンテーション	〔テーマ〕 『マネジメント』 〔スタッフ〕 齋藤貞之 (※) 林 秀美 丸田秀一郎	〔テーマ〕 『国際ビジネス』 〔スタッフ〕 北 真収 (※) 木下 学 王 効平	〔テーマ〕 『マネジメント』 〔スタッフ〕 越出 均 齋藤貞之 (※) 宮下 永
	19:00～ 【90分】	個別相談会			
4	20:30	終了			

(※) 司会、進行役

(敬称略)



News Release

06-D-666

2006年11月8日

公立大学法人 北九州市立大学 (証券コード: -)

長期優先債務新規格付 : 「AA」(ダブルAフラット)

格付けの見通し : 安定的

株式会社日本格付研究所(JCR)は、以下のとおり長期優先債務*の新規格付けをいたしましたのでお知らせします。

* 長期優先債務格付けとは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価(債券の格付け、ローンの格付け等)では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること(上回ること、または下回ること)もあります。

発行体: 公立大学法人 北九州市立大学

【新規】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA	安定的

【格付事由】

- (1) 1946年設立の「小倉市立外事専門学校」を発祥とし、外国語学部をはじめ5学部を擁する我が国国有数の公立総合大学。アジアとの交流の歴史及び環境問題への取り組みなど北九州地域の特性を活かした教育・研究・地域産業への貢献を目的とする。北九州市に2つのキャンパスを有し、在籍学生数は約7,000人。
- (2) 公立大学法人の模範とも言える本学の改革はスピード感があり、かつ的確に進められている。公立大学としては大規模校だが、05年4月に公立大学法人への移行後は、教学部門の自治に配慮しつつも、理事長ならびに学長による強力なリーダーシップを発揮できる体制を構築している。中期計画初年度は、全学に亘って教員人事、組織改編、意思決定プロセスの確立等を行なったが、そのフレームワークは本学の戦略効果の発現に対し、有効に機能していくものとJCRは見ている。また、入試から就職まで一貫した教育システムを体系化させ、入試センター、キャリアセンターの設置を図っている。人間力の醸成と専門教育の基礎固めを狙いとした基盤教育センターの導入は、本学の教育力・就職力を一段と向上させ、キャッシュフローの安定化に資する可能性がある。
- (3) 志願者数は、18歳人口の減少による影響を受けており、減少傾向にある点は否めない。しかし、現時点では他大学との競合上、学部により多少の優劣はあるものの、全体としての競争倍率は安定した水準を維持している。また、これまでのところ入学者の学力水準についても年々上昇傾向にある等、地域における学生からの支持は確保されている。現在取り組む一連の施策が九州周辺地域での志願者総数の増加や、志願者層の質的向上に繋がるかが注目される。
- (4) 西日本屈指の産業集積地である北九州市において本学の位置付けは高く、市政において主体的かつ緊密な位置付けにある。「北九州市ルネッサンス構想」では、人材創造に努め、競争力のある産業都市としてのポジションを確立すると共に、環境に配慮した都市づくりを標榜している。01年開設の北九州学術研究都市はその象

格付けは、信用すべし情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行体から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社日本格付研究所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)

QUICK (和文: QR / 英文: QQ) TELERATE JLI PRESS

<お問い合わせ先>

TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部

http://www.jcr.co.jp



News Release

徴であり、さらには同年設置された国際環境工学部は、北九州市が産学公連携の学術部門の中核として位置づけていることを示している。ただし、北九州市の財政状況は現時点では総じて健全といえるものの、税収基盤がやや弱く、歳入における交付税依存度が高い。今後の政府による三位一体の財政改革が地方財政に与える影響は大きく、市の財政力が変容していく可能性があることには留意しておく必要がある。また、本学においても運営費交付金に係る効率化係数の適用はあるが、運営費交付金依存度は他の公立大学法人に比して相当程度低く、市からの合理化・効率化の要請が強まった際の対応に余力を残している。さらには、各種増収策を検討しており、法人としての収支、中期計画の遂行に当面懸念すべき状況にはない。

- (5) 独立行政法人化を契機とした本学の教育・研究への取り組みは、地域貢献の機会を一段と高め、学生、企業等の支持を得て自主財源獲得という点で相応の水準を維持しうるのであろう。今後の中期計画の実績を見定めていく必要はあるが、北九州地区トップの総合大学としての基盤は堅く、スピード感あるマネジメントから打ち出される戦略によって本学の競争力はさらに増す可能性がある。格付けは、本学の大学の自主財源獲得力の評価をベースとし、設置団体である自治体等による支援度の評価と自治体自身の財政力の3つ視点をもって総合的に判断した。

(チーフアナリスト 吉田 法男 シニアアナリスト 殿村 成信)

この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

北九州市立大学事務局総務課 丸山、深村
電話093-964-4004
経営企画課 河合、木原
電話 093-964-4195

格付けは、採用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア(検索コード)>
BLOOMBERG (和文:JCRA/英文:JCR) REUTERS (EJCRA)
QUICK (和文:QR/英文:QQ) TELERATE JLIIPRESS
<お問い合わせ先>
TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部
<http://www.jcr.co.jp>

◆私立大学 格付け公表状況

2006.10現在

大学法人名	格付け
慶應義塾	AA+/AA(S)
早稲田大学	AA+
同志社	AA+
上智学院	AA(S)
青山学院	AA+(J)/AA-(S)
日本大学	AA
國學院大學	AA(J)/AA-
東京理科大学	AA-(S)
近畿大学	AA-
成蹊学園	AA-
法政大学	AA-
龍谷大学	AA-
福岡大学	AA-
千葉工業大学	AA-
京都薬科大学	AA-
大阪医科大学	A+
大阪経済大学	A+
修道学園	A+
塚本学院	A+
東京経済大学	A+
共立女子大学	A+(J)
追手門学院	A
関東学院	A
武蔵野女子学院	A
桜美林学園	A-

◆国公立大学 格付け公表状況

2006.10現在

大学法人名	格付け
東京大学	AAA
北九州市立大学	AA (J)

無印はR&I(格付投資情報センター)、(J)はJCR(日本格付研究所)、(S)はS&P(スタンダードアンドプアーズ)

JCRによる格付事例（金融・証券除く）



格付	代表的企業	国・地方自治体・財投機関等
AAA	NTTドコモ、東京電力、関西電力、電源開発	日本国 東京地下鉄、日本放送協会
AA+	セコム、NTTデータ、セブン&アイホールディングス	東京都、神奈川県、愛知県、京都府、仙台市、札幌市、福岡県、北九州市、日本学生支援機構、学校法人青山学院
AA	新日本製鉄、旭化成、中外製薬、住友電工、アイシンAW、京王電鉄、キヤノンマーケティングジャパン、日本郵船、JFEスチール、オリエンタルランド	兵庫県、広島県、横浜市、福岡市、名古屋市 都市再生機構、学校法人國學院大學
AA-	サントリー、住友化学、小田急電鉄、三菱重工業、東宝オリックス、クラレ、アドバンテス、東京エレクトロン、ヤマハ	北海道、大阪府、大阪市、神戸市、関西国際空港
A+	大林組、明治製菓、ヤマハ発動機、日本電産、しまむら、ヤマダ電機、伊藤忠商事、住友ベークライト、日本電気硝子	学校法人 共立女子学園
A	参天製薬、島津製作所、マツモトキヨシ、三菱化学、平和堂イズミ、電気化学工業、キッセイ薬品、横浜ゴム、同和鉱業	学校法人 郁文館夢学園
A-	日揮、ニコン、川崎重工、ニプロ、高島屋、阪急百貨店、丸紅、岡村製作所、浜松ホトニクス、エア・ウォーター、住友不動産	
BBB+	全日本空輸、阪急ホールディングス、マツダ、三井造船、名古屋鉄道、エルピーダメモリ、住友重機械工業、三洋電機、東邦亜鉛	
BBB	昭和電工、三菱マテリアル、ソフトバンク、ドンキホーテ、三越コスモ石油、グッドウィルグループ、東京建物、大王製紙	医療法人社団 ジャパンメディカルアライアンス (JMA) 財団法人 脳神経疾患研究所 (総合南東北病院)
BBB-	宇部興産、双日、東京ドーム、いすゞ自動車、総合メテイクル、富山化学、東リ、ナカバヤシ、東武鉄道、古河機械金属、GSユアサグループ、日本航空、ミヨシ油脂	
BB+	パイテック、太平工業、徳倉建設、ケーヨー、GSユアサグループ	
BB	サンウエーブ工業、カーメイト、東北ミサワホーム	医療法人社団慶友会、医療法人徳真会グループ
BB-	メデカジャパン、三菱自動車工業	

(注)2006年9月30日現在。地方自治体はp格付付。

北九州市立大学と仁川発展研究院との 研究交流協定の締結について

1 趣旨・目的

北九州市立大学はこれまで、国際化社会に対応すべく、東アジア諸国及びアメリカ、イギリスをはじめとする9カ国16大学1研究所と協定を締結し、学生・教員交換や語学研修、学術交流、学生受け入れなどを積極的に行ってきた。また、平成18年4月に北九州産業社会研究所と統合した北九州都市協会研究部も、本市の姉妹都市である韓国仁川広域市のシンクタンク（仁川発展研究院）との間で、国際交流・共同研究発表会の開催や共同論文集の発行などの交流実績がある。

そこで今回、これまでに培われた北九州市と仁川広域市との都市間交流、北九州都市協会と仁川発展研究院との研究交流の実績を、本学及び新しく誕生した都市政策研究所が継承し高次化するため、研究交流協定を締結する。

この仁川発展研究院との協定締結は、東アジアに開かれた研究拠点を目指す本学にとって、以下のような点で大変意義がある。

(1) 東アジア研究の促進

仁川発展研究院は、韓国国内及び中国（大連、青島、天津）等に幅広いネットワークを持っている。したがって、同研究院との協定を締結することにより、特に東アジア研究を進める上で、同研究院を情報収集拠点及び調査研究活動拠点にすることが可能となり、本学にとって大変魅力的である。

(2) 共同研究、マッチング

仁川発展研究院は、大学に匹敵する幅広い研究領域を有する総合的かつ高度な研究組織である。したがって、人的交流、情報ネットワーク構築等、様々な面で本学とのマッチングが十分可能であり、共同研究等を通じて十分な成果を挙げることが期待される。

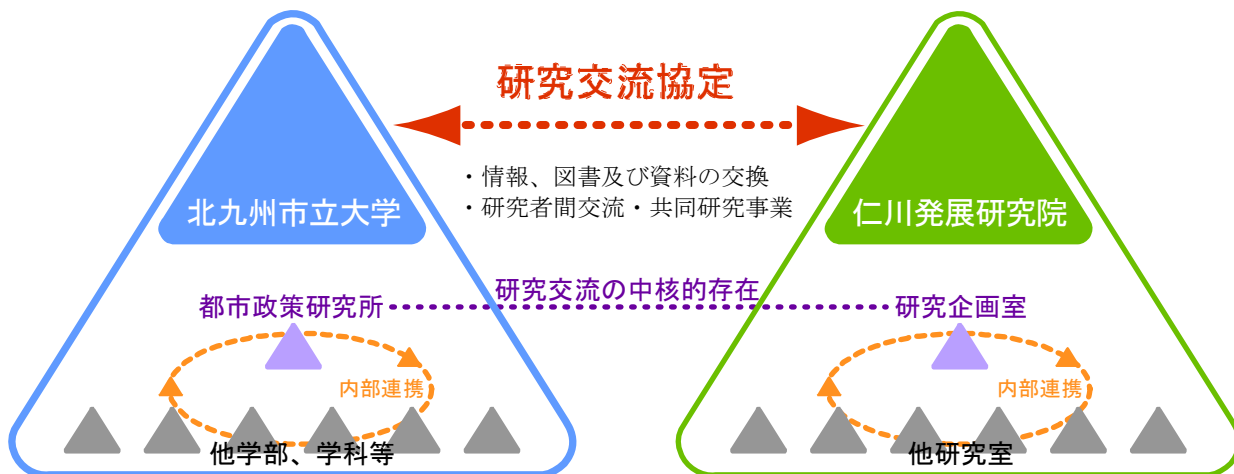
(3) 地域問題解決への貢献

地域研究を進めていく上で、国内外における地域政策課題を比較検討することは重要な視点の一つである。仁川発展研究院は、行政問題に精通し、行政とのネットワーク機能も充実しているため、それぞれが有する地域研究に関する情報や成果、ノウハウ等を交換、共有し、ストックしていくことで、今後の調査研究活動に対し、大きな効果が期待される。

交流事業は、学術及び文化等に関する情報、図書及び資料の交換や研究者間交流・共同研究事業などを予定している。

協定締結のイメージ

- ◆友好交流協定の締結：「北九州市立大学」と「仁川発展研究院」
- ◆実質的な研究交流：「都市政策研究所（北九州）」と「研究企画室（仁川）」が窓口となり、内部との連携を図りつつ、主体的に研究交流事業を行う



2 研究交流協定の締結概要

(1) 協定名称

日本国公立大学法人北九州市立大学と大韓民国財団法人仁川発展研究院との研究交流協定

(2) 締結日時

平成18年11月9日（木） 午前10時から

(3) 締結場所

公立大学法人北九州市立大学 本館 7階（E701会議室）
（北九州市小倉南区北方四丁目2番1号）

(4) 締結者

北九州市立大学：学長 矢田 俊文
仁川発展研究院：院長 金 昌 燮

3 研究交流協定の内容

- (1) 学術及び文化等に関する情報、図書及び資料の交換
- (2) 共同研究事業
- (3) その他、両者の合意に基づく事業

【問い合わせ先】

公立大学法人北九州市立大学経営企画課 木原、河合（TEL093-964-4195）
都市政策研究所 上田、猪俣（TEL093-964-4302）

仁川発展研究院の概要（HPより抜粋）

（１）設立目的

仁川発展研究院(Incheon Development Institute)は、仁川広域市の市政全般にわたる各種課題を現実的かつ体系的に研究・調査・分析し、地域懸案に対する多様な政策代案を開発することにより、地域ぐるみの独自の政策開発及び策定に寄与することを目的とする。

（２）主要機能

- ・ 市政全般にわたる中長期開発計画及び主要懸案に対する調査・研究
- ・ 地方行政制度の改善、地方財政の拡充及び主要政策課題に対する調査・研究
- ・ 行政機関や政府投資機関、民間団体などからの各種研究依頼の受託
- ・ 地域の各種経済及び社会指標の策定
- ・ 地方行政に係わる内外の各種情報資料の収集、管理、出版、配布
- ・ 国内外研究機関との交流・協力及び国際研究分野の比較検討
- ・ 韓中交流センターとしての役割遂行
- ・ その他、当院の目的達成のために必要な事業の遂行

（３）組織図及び研究内容

◆研究企画室（６名）

研究企画、調整、総括及び広報、共同研究及び国際協力主管、情報収集 等

◆都市経営研究室（７名）

都市行政、都市財政、社会福祉、地域経済政策、投資誘致、観光振興 等

◆都市計画研究室（５名）

都市基本計画、都市整備、都市開発事業、土地利用計画、建築及び住宅政策 等

◆交通物流研究室（５名）

交通計画、道路計画、大衆交通政策、物流政策、産業支援、国際物流施設計画 等

◆環境生態研究室（４名）

環境にやさしい都市発展政策、環境保全及び管理政策、環境生態の実態調査、公園緑地 等

◆韓中交流センター（１名）

中国経済及び地域関連の D/B 構築及び情報提供、韓中地方政府・企業及び民間交流の支援 等

◆女性開発センター（１名）

地域の女性問題に関する調査・研究、地域の女性政策開発及び女性に関する政策研究 等

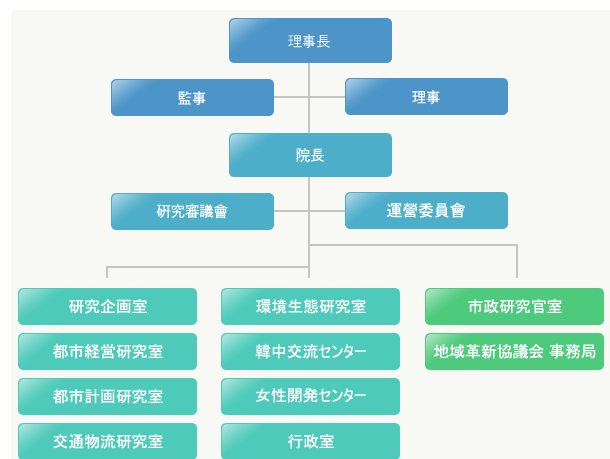
◆行政室（８名）

行政、財政的支援及び管理、予算及び決算、出納及び会計 等

◆市政研究官室

◆地域革新協議会事務局（１名）

以上、約 40 名の専任スタッフ



必履修科目未履修者の取扱いについて

(1) 経緯

高等学校において、高等学校学習指導要領の規定により、全ての生徒に履修させる各科目（以下「必履修科目」という。）を生徒に履修させないなど、学習指導要領に反する事例が判明し、高等学校卒業認定が困難な事態となった。

(2) 文部科学省の対応

「出願受付及び可否の判定に当たり、平成18年度に高等学校の最終年次に在学する必履修科目が未履修の生徒及び必履修科目を未履修で既に高等学校を卒業した者を、未履修科目があることをもって不利益に取り扱うことのないよう配慮すること。」と平成18年11月2日付通知がなされた。

(3) 本学の対応

① 本学の基本姿勢

未履修は当該学生の責めに帰すべき事由により生じたわけではないので、当該学生に不利益にならないように対応する。

② 推薦入学試験（現役生）への対応

文部科学省の通知に沿って作成された調査書であることを確認し、出願を受け付ける。疑義が生じた調査書については、高等学校へ問い合わせを行い対応する。

③ 浪人生への対応

既に高等学校を卒業した者については、卒業認定を取り消されないため、提出された調査書で出願を受け付ける。

④ 在学学生への対応

既に高等学校を卒業した者は、卒業認定を取り消されることがないため、特に措置を講じない。

この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

北九州市立大学教務課入学試験係	清水、入口	電話 093-964-4023
経営企画課	木原、河合	電話 093-964-4195